

公益社団法人 **日本農芸化学会** 関東支部 2018年度第1回 企業イベント

(報告者: 阪上 了一)

日本農芸化学会関東支部2018年度第1回 企業イベント～企業の研究員&技術者からのメッセージ～が、2018年11月10日(土)に東京大学農学部2号館第1講義室で開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の若手・中堅研究員・技術者の生の声をお伝えし、交流していただくことで、若者の未来をエンカレッジすることを目的として、秋と冬に2回に分けて開催しているものです。本年度の第1回企業イベントでは、小川香料、キッコーマン、協和発酵バイオ、サッポロビール、大正製薬、森永乳業の6社よりご賛同を頂き、関東の学生約80名が参加しました。

当日の講師と演題

1. 馬場 良子 氏 (小川香料株式会社 解析研究所)
香りの研究の魅力 ～おいしさ・心地よさを実現する香料をめざして～
2. 大友 裕絵 氏 (キッコーマン株式会社 研究開発本部)
キッコーマンの研究開発 ～おいしさ研究～
3. 築島 謙太郎 氏 (協和発酵バイオ株式会社 R&BD部)
協和発酵バイオにおける研究起点の事業開発 ～ヒト母乳オリゴ糖から新領域開拓まで～
4. 小泉 智洋 氏 (サッポロビール株式会社 千葉工場 醸造部)
“エビス 華みやび”の開発 ～酵母選抜から工場スケールでの製造まで～
5. 圓山 智嘉史 氏 (大正製薬株式会社 セルフメディケーション研究開発本部)
大正製薬の研究開発 ～セルフメディケーション事業を中心に～
6. 齊藤 万里江 氏 (森永乳業株式会社 研究本部素材応用研究所)
森永乳業の素材研究 ～アロエベラの肌への作用と機能性食品への応用～

講演の部では、企業紹介、自己紹介、研究紹介、研究員の一日と休日の過ごし方、会社を選んだ理由、学生への期待やアドバイス等々、興味深い話が満載で、学生にとって有意義で実りある講演内容でした。

その後のパネルセッションでは、学生からの様々な質問に答えて頂き、それぞれの会社の特徴や魅力を分かりやすく発信して頂きました。



講演後の質疑



パネルディスカッション

JSBBA KANTO

その後、学内の弥生講堂アネックスに移動し、企業から参加した講師、研究者、人事担当者を囲んで交流会が行なわれました。交流会では、学生の皆さんがオリジナルの名刺を用意するなど積極的に交流を深め、講師を囲んで普段聞けないことなども含めて、積極的に質問していました。講師の方も熱心に答えて下さり、大盛況のうちに開催することができました。



交流会の様子

本イベントは、参加するのが講演企業の担当者と学生のみであるため、フラットな立場で、双方が遠慮なく、自由に交流ができることが大きな特徴です。参加した学生から次のような感想をいただきました。「気軽な雰囲気、社員の方との距離が近く良かった。」「進路を考える貴重な機会になった。」「積極的な学生が多く、刺激になった」「前向きに、楽しく仕事をされていることが伝わってきて、魅力的に感じられた。」「研究体制や商品開発から製造までの舞台裏の話が聞け、面白かった。」

一方で講師の方も、「熱意を持った多くの学生さんと話が出来たのが良かった。」「自分の就職活動や大学での研究を振り返る非常に良い機会になった。」「他社での研究や事業の話が刺激になった。」等の感想をいただきました。

参加した学生の皆さんや講演企業の方々にも満足いただき、有意義なイベントを提供できたと思います。

次回の第2回 企業イベントは、来年2月頃に都内で開催の予定です。